

令和6年7月18日



大型クラゲ情報(令和6年度第3号)

概要

- ・隠岐の定置網では大型クラゲの入網が続き、操業に支障をきたしている例も確認されます。
- ・出雲・石見の定置網でも入網が確認されました。
- ・島根県沖合・対馬周辺のみき網でも入網が確認されています。
- ・島根県沖合に大量のクラゲが分布していると考えられることから、沿岸漁業・沖合漁業ともに警戒が必要です。

本県の出現状況(7月18日現在)

- ・隠岐の定置網では大型クラゲの入網が続いています。40～90cm程度のサイズのクラゲが、最大で1経営体当たり400個体程度入網しました。クラゲが多すぎて網揚げできない状況も報告されています。
- ・出雲・石見でも入網が確認されました(出雲地区および江津地区)。20～60cm程度のサイズのクラゲが、1経営体当たり10～30個体程度入網しています。また、浜田沿岸でも大型クラゲが目撃されています。
- ・7月16日に試験船島根丸によって、隠岐北方の海域で大型クラゲが確認されました。3地点で4～16個体程度、大きさは50cmサイズです。海上から確認できる個体は全体のごく一部であることから、相当数が海面下を浮遊している可能性があります。
- ・みき網にも入網しました。沖合操業の船も警戒が必要です。
- ・7月中にこれだけまとまった数の入網があったのは、近年では2009年と2019年で、特に2009年は大量出現が12月まで続き、各種漁業に被害を与えました。

漁業情報サービスセンター(JAFIC)からの情報提供(7月18日現在)

- ・分布は東に広がっており、京都府でも大型クラゲが確認されています。
- ・島根県沿岸、対馬周辺のみき網でも入網の情報があります。
- ・沖合にはすでに多くの分布があると予想されます。山陰は全域で警戒してください。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

【発信者】

島根県水産技術センター

海洋資源科 担当：石原

TEL: 0855-23-4806

FAX: 0855-23-2079

Email: suigi@pref.shimane.lg.jp